



令和7年度
地区別住民意想談会

松波小学校区

内浦総合支所／午後6時半から

目次

01 開会

02 町長あいさつ

03 出席者紹介

04 説明

インフラの復旧・復興見通し
公共施設個別施設計画の見直し案
復興公営住宅の整備計画案
地区別復興まちづくり計画案

05 意見交換

06 閉会あいさつ

07 閉会

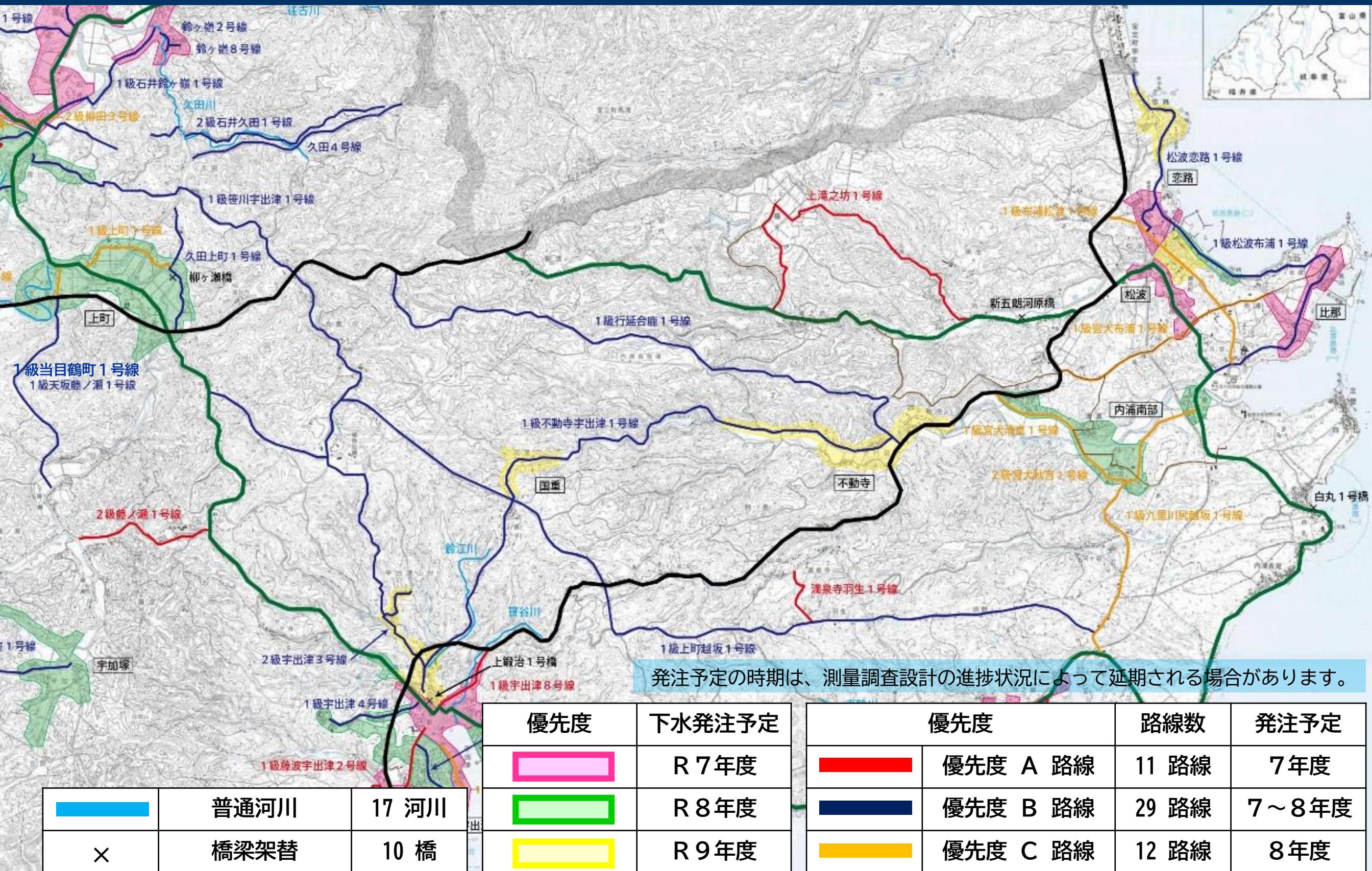
01

公共土木施設等の 復旧・復興見通しについて (建設水道課長)

災害復旧事業(公災)の発注方針

区分	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度
上水道	道路の優先度及び上下水の被災度を考慮した区域		その他地区の被災箇所	概ね完了
下水道				
道路(町)	主要幹線道路（緊急輸送道路、幹線1・2級町道） 不通過路		左記以外の道路 ・集落内道路 ・生活道路等	概ね完了
橋梁(町)	孤立集落、重要路線、地域拠点へのアクセス道路 等			
河川(町)	人家連担（近接）部で特に被害が甚大な区間 農地、農業用施設部		左記河川における R7年度～R8年度実施 以外の区間	概ね完了

インフラ施設 復旧計画図



主要町道復旧計画

主要町道復旧計画

(注) 発注予定の時期は、測量調査設計の進捗状況によって延期される場合があります。予定は随時更新します。

R07.11.01 時點

主要町道復旧計画

主要町道復旧計画

(注) 発注予定の時期は、測量調査設計の進捗状況によって延期される場合があります。予定は随時更新します。

R07.11.01 時点

主要町道復旧計画

主要町道復旧計画

(注) 発注予定の時期は、測量調査設計の進捗状況によって延期される場合があります。予定は随時更新します。

R07.11.01 時点

02

農林水産業施設の 復旧・復興見通しについて (農林水産課長)

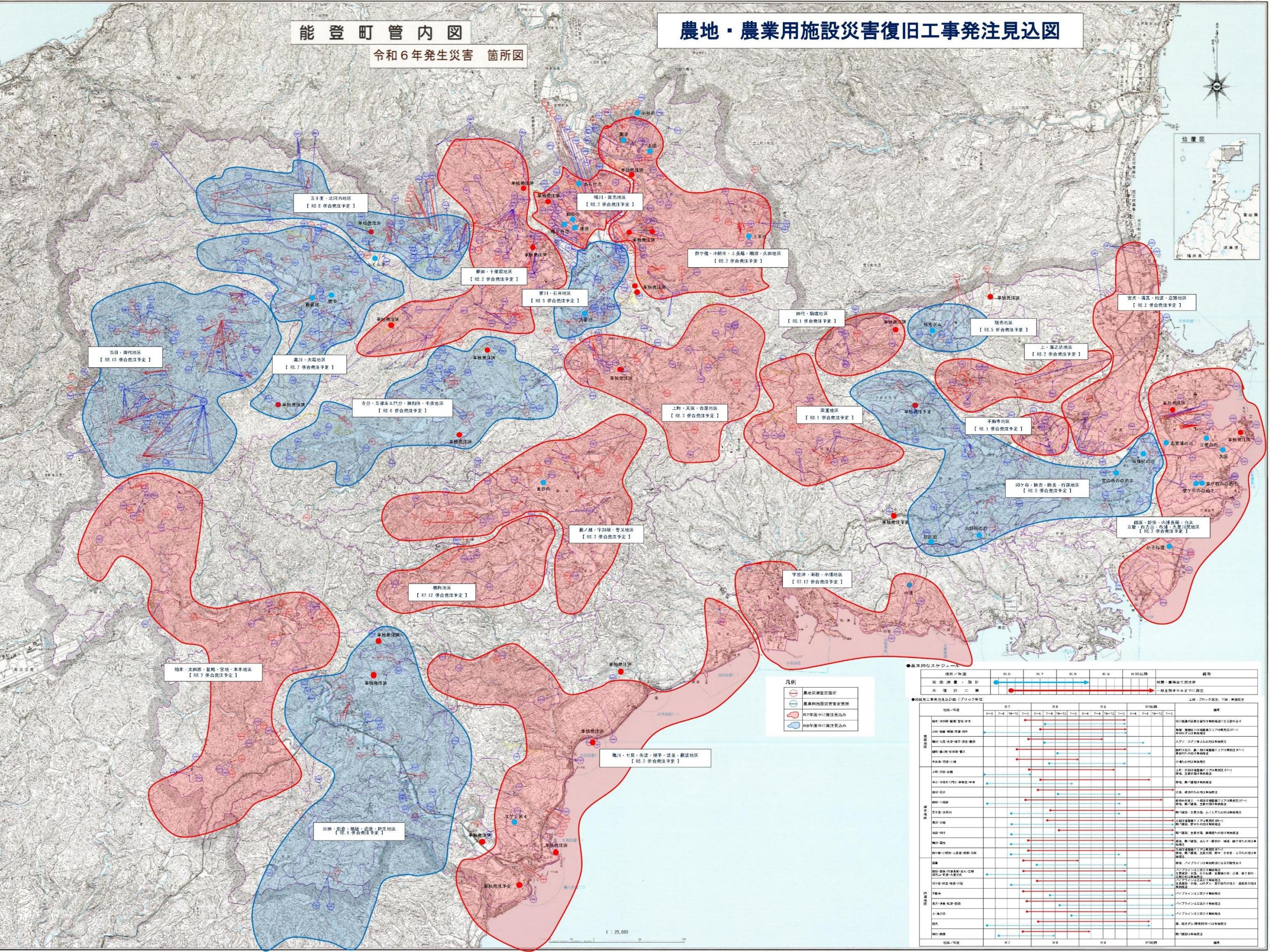
災害復旧事業(公災)の発注方針

区分	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度
農林治山	各地区の営農ニーズを踏まえた 優先整備施設 避難路や幹線道路へのアクセス 路となる農道・林道 林地崩壊箇所		その他地区の被災箇所	
漁業施設	漁業活動に不可欠な施設 背後集落に被害が及ぶ施設		その他地区の被災箇所	

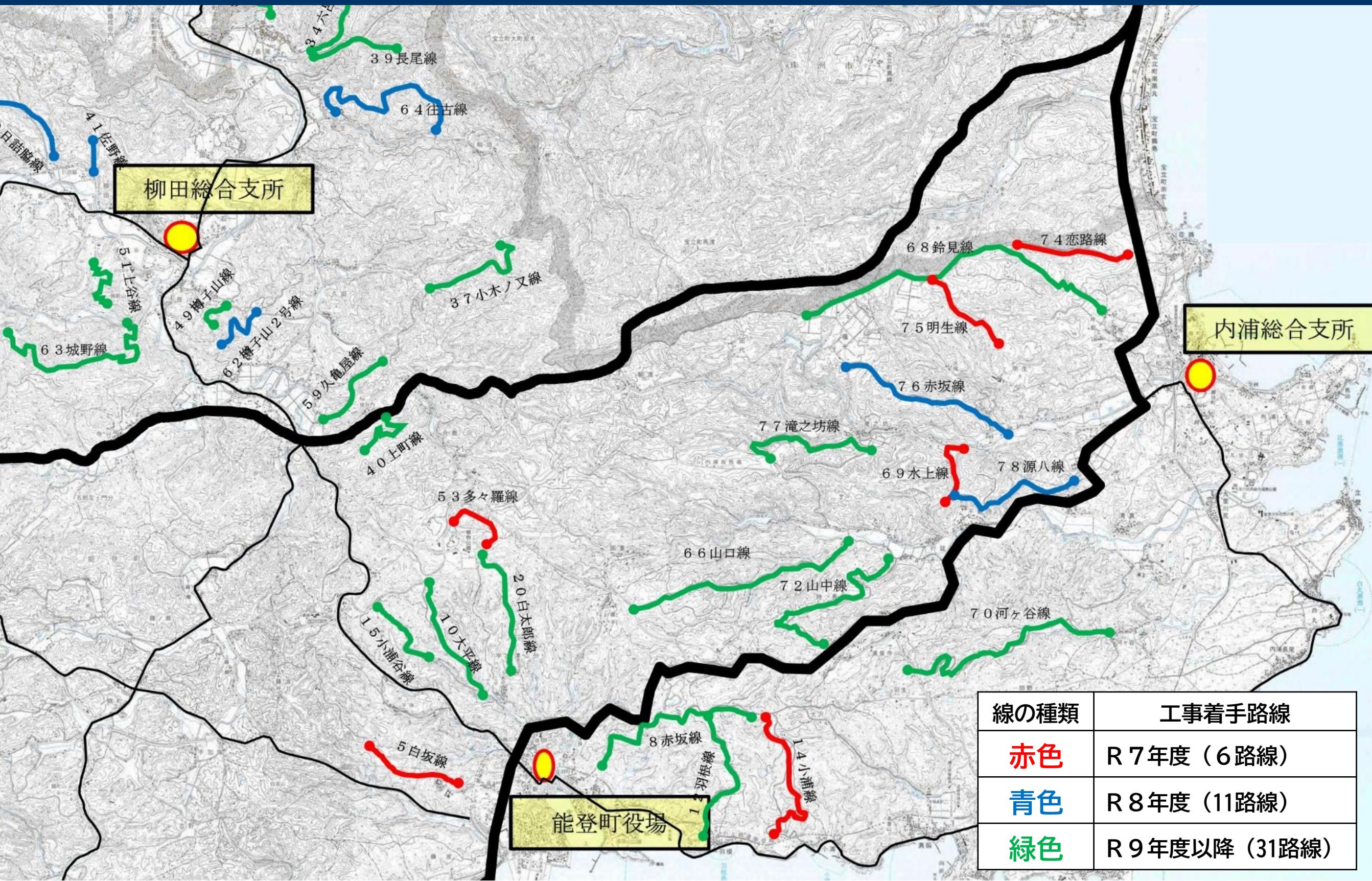
能登町管内図

令和6年発生災害 箇所図

農地・農業用施設災害復旧工事発注見込図



林道 災害復旧路線位置図

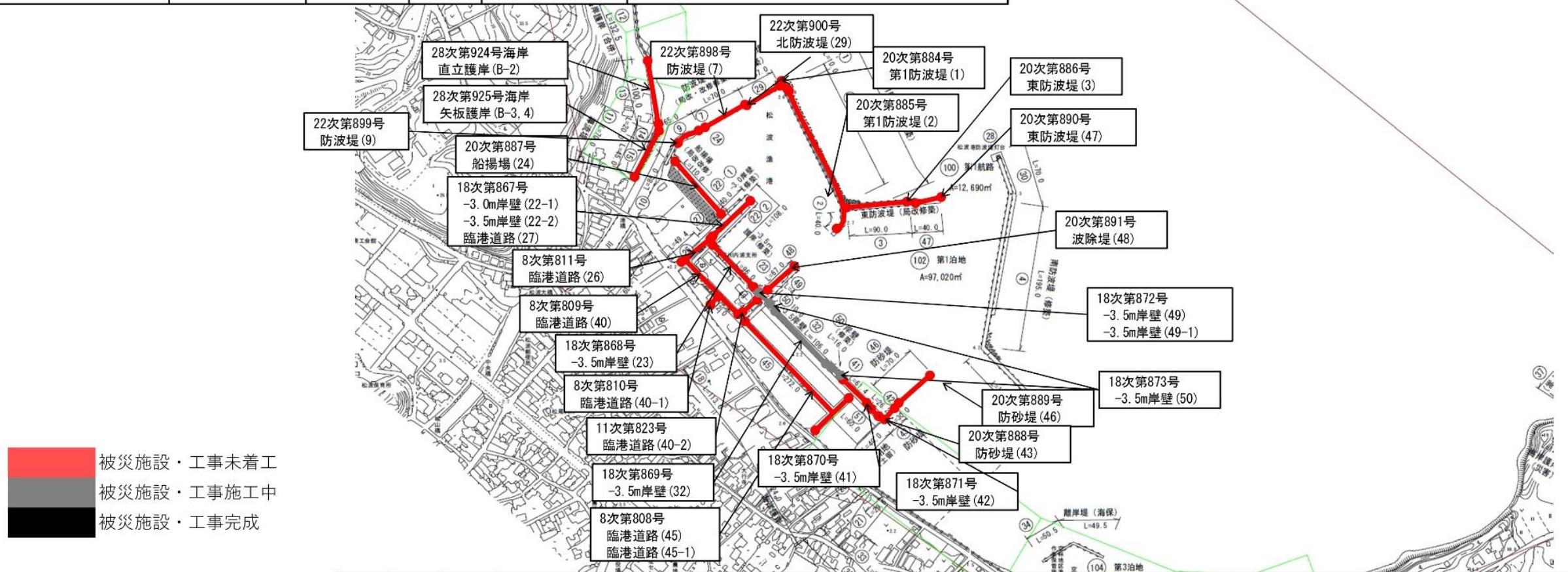


治山工事位置図（34か所）



○印の種類	事業名	入札準備	契約件数	完成
赤色	災害関連林地崩壊防止事業	4件	3件	0件
青色	林地崩壊防止事業	2件	13件	10件
緑色	林地荒廃防止施設災害復旧事業	0件	2件	0件

松波漁港 (まつなみ)	漁港番号	種別	所管	管理者	施工場所
	2420050	第2種	本土	能登町	石川県鳳珠郡能登町字松波



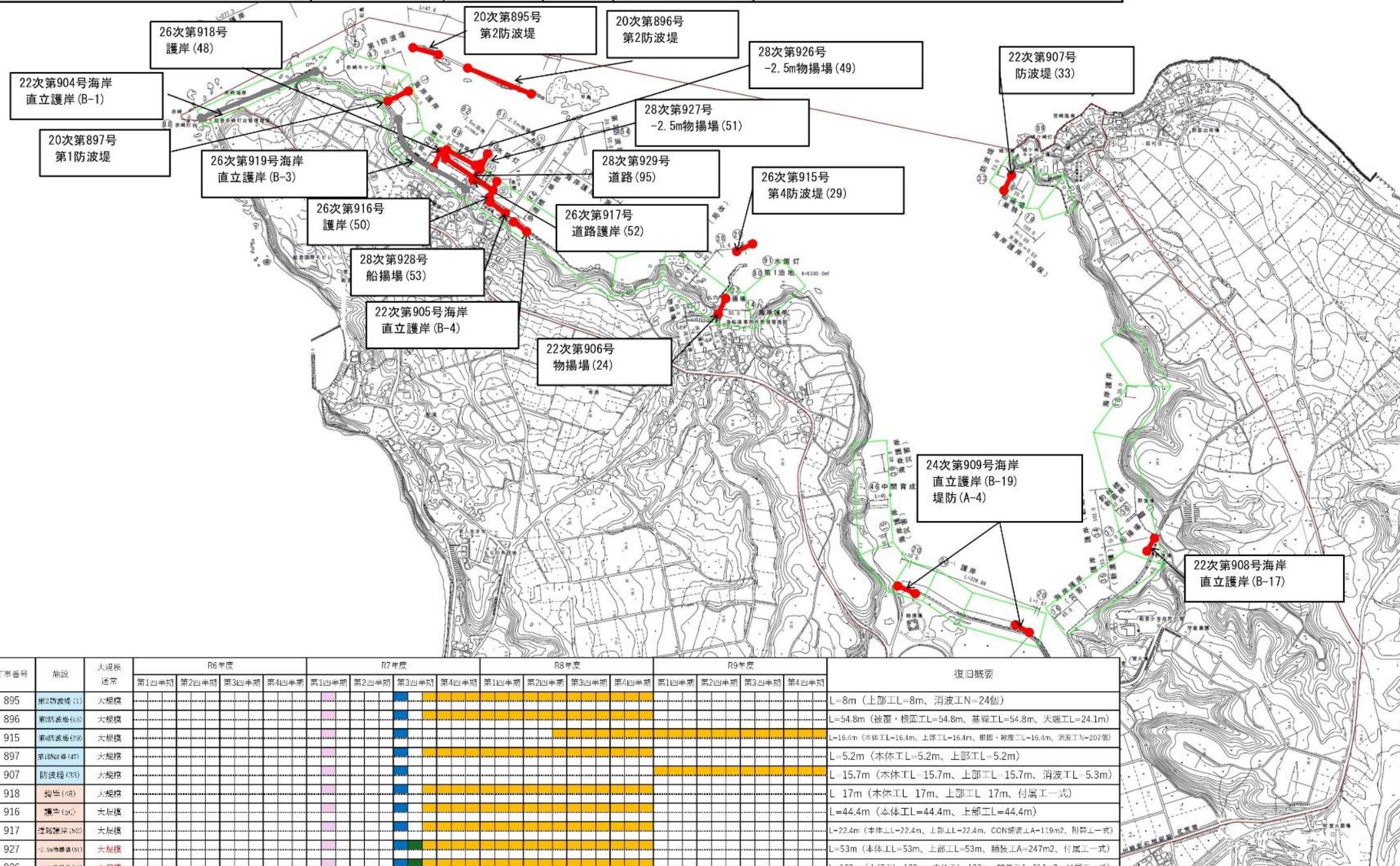
工事番号	施設	大規模 通常	R6年度				R7年度				R8年度				R9年度				復旧概要
			第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期													
884	東1防波堤(1)	大規模																	L=10m (上部工L=10m、消波工N=70個)
885	第1防波堤(2)	大規模																	L=214.9m (上部工L=214.9m、消波工N=75基)
886	東防波堤(3)	大規模																	L=91m (上部工L=91m、根固・被覆工L=65m、消波工N=111個)
890	東防波堤(4)	大規模																	L=40m (本体工L=10m、上部工L=40m、根固・被覆工L=10m)
914	南防波堤(4)	大規模																	L=379m (上部工L=379m、消波工N=478個)
914	西防波堤(3)	大規模																	L=379m (上部工L=379m、消波工N=479個)
914	西防波堤(3)	大規模																	L=379m (上部工L=379m、消波工N=480個)
900	北防波堤(9)	大規模																	L=57.8m (上部工L=57.8m)
898	防波堤(7)	大規模																	L=70.4m (上部工L=70.4m)
899	防波堤(9)	大規模																	L=30.9m (基礎工L=30.9m、根固・被覆工L=30.9m)
891	防波堤(48)	大規模																	L=67.2m (上部工L=67.2m、本体工L=67.2m、基礎工L=67.2m)
888	防砂堤(43)	大規模																	L=25.4m (本体工L=30.9m、上部工L=25.4m、被覆工L=30.9m、基礎工L=30.9m、付帯工N=1式)
889	防砂堤(46)	大規模																	L=69.3m (本体工L=69.3m、上部工L=69.3m、被覆工L=69.3m、基礎工L=69.3m)
867	-3.5m水準(22-1)	大規模																	L=52.1m (本体工L=91.1m、上部工L=91.1m、CON斜装工A=170.8m2、重力式擁壁工L=19.3m、付帯工N=1式)
867	-3.5m水準(22-2)	大規模																	L=111.2m (本体工A=170.8m2、重力式擁壁工L=19.3m、付帯工N=1式)
867	溝端(27)	大規模																	L=85.4m (排水構造物工L=29.5m、附帯工一式)
868	-3.5m水準(23)	大規模																	L=96m (本体工L=86m、上部工L=96m、鋪装工A=256m、排水構造物工L=86m、付帯工N=1式)
869	-3.5m水準(23)	大規模																	L=106.2m (本体工L=106.2m、上部工L=106.2m、鋪装工A=520m、付帯工N=1式)
870	-3.5m水準(41)	大規模																	L=115.6m (本体工L=61.5m、上部工L=61.5m、被覆工L=61.5m、基礎工L=61.5m、付帯工N=1式)
871	-3.5m水準(42)	大規模																	L=20.1m (本体工L=26.1m、上部工L=26.1m、被覆工L=26.1m、基礎工L=26.1m、付帯工N=1式)
873	-3.5m水準(43)	大規模																	L=26m (本体工L=26m、上部工L=26m、鋪装工A=127m2、付帯工N=1式)
872	-3.5m水準(44)	大規模																	L=4.5m (溝端工L=4.5m、側溝工L=4.5m、付帯工L=4.5m、基礎工L=24m、付帯工N=1式)
872	-3.5m水準(45-1)	大規模																	L=8.5m (溝端工L=4.7m、側溝工L=4.7m、付帯工L=4.7m、基礎工L=20.2m、付帯工N=1式)
887	船港場(24)	大規模																	L=91.9m (鋪装工A=800m2、被覆・根固め工L=91.9m、本体工L=91.9m)
811	陸側直轄(26)	通常																	L=49.6m (鋪装工A=528m2、側溝工L=93m)
809	陸側道路(40)	通常																	L=115.3m (鋪装工A=1162m2、側溝工L=238m)
810	陸側道路(49-1)	通常																	L=18.9m (鋪装工A=147m2、側溝工L=39m)
823	陸側道路(49-2)	大規模																	L=30.7m (鋪装工A=196m2、側溝工L=31m)
808	陸側道路(46)	通常																	臨港道路(45)L=153.5m {AS舗装工A=1164m2、側溝撤去新設工L=328m}
808	東港道路(45-1)	通常																	臨港道路(45-1)L=74.2m {AS舗装工A=572m2、側溝撤去新設工L=130m} }
924	東港道路(3-6)	大規模																	L=100.3m (本体工L=100.3m、上部工L=100.3m、舗装工A=286m2、排水構造物工L=100.3m)
925	東港道路(3-8)	大規模																	L=12.8m (本体工L=12.8m、上部工L=12.8m、CON舗装工A=56m2、排水構造物工L=12.8m、溝工L=12.8m)
925	東港道路(3-9)	大規模																	L=44.1m (本体工L=44.1m、上部工L=44.1m、CON舗装工A=128m2、排水構造物工L=44.5m、溝工L=44.1m)

上工
上工

測量・調査	上段：予定
地質調査	下段：実績
鉱石	
工具	変更協議

比那漁港 (びな)	漁港番号 2410300	種別 第1種	所管 本土	管理者 能登町	施工場所
					石川県鳳珠郡能登町字布浦

S = 1 : 5000



被災施設・工事未着工
被災施設・工事施工中
被災施設・工事完成

工事番号	施設	大規模 区分	R6年度				R7年度				R8年度				R9年度				復旧概要
			第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期													
895	第2防波堤(1)	大型構																	L=8m (上部工L=8m, 消波工N=24個)
896	航防柵(6)	大型構																	L=54.8m (被覆・根固工L=54.8m, 基礎工L=54.8m, 天端工L=24.1m)
915	第4防波堤(29)	大型構																	L=16.4m (本体工L=16.4m, 上部工L=16.4m, 根固・被覆工L=16.4m, 消波工N=207個)
897	第1防波堤(40)	大型構																	L=5.2m (本体工L=5.2m, 上部工L=5.2m)
907	防波堤(33)	大型構																	L=15.7m (本体工L=15.7m, 上部工L=15.7m, 消波工L=5.3m)
918	護岸(48)	大型構																	L=17m (本体工L=17m, 上部工L=17m, 付属工一式)
916	護岸(50)	大型構																	L=44.4m (本体工L=44.4m, 上部工L=44.4m)
917	道路護岸(52)	大型構																	L=22.4m (本体工L=22.4m, 上部工L=22.4m, CON護岸A=119m ² , 附帶工一式)
927	-2.5m物揚場(51)	大型構																	L=53m (本体工L=53m, 上部工L=53m, 締合工A=247m ² , 付属工一式)
926	-2.5m物揚場(53)	大型構																	L=133m (上部工L=133m, 本体工L=133m, 締合工A=314m ² , 付属工一式)
906	物揚場(24)	大型構																	L=17.5m (本体工L=17.5m, 締合工A=75m ²)
928	船橋桟(53)	大型構																	L=42.8m (本体工L=42.8m, 締合工L=42.8m, 付属工一式)
929	道路(95)	大型構																	L=174.7m (締合工L=174.7m, 排水工L=220.1m, 付属工一式)
904	直立護岸(B-1)	大型構																	L=130.2m (締合工A=371m ²)
919	直立護岸(B-3)	大型構																	L=221.9m (締合工A=357m ²)
905	直立護岸(B-4)	大型構																	L=25m (上部工L=25m)
908	直立護岸(B-17)	大型構																	L=16.7m (被覆工L=16.7m)
909	隕波護岸(B-10)	大型構																	L=128m (階段ブロック工N=760個, 止壁工L=127.2m, 水印工L=128m)
909	堤防(A-4)	大型構																	L=12.3m (本体工L=12.3m, 水印工L=1.7m, 付属工一式)

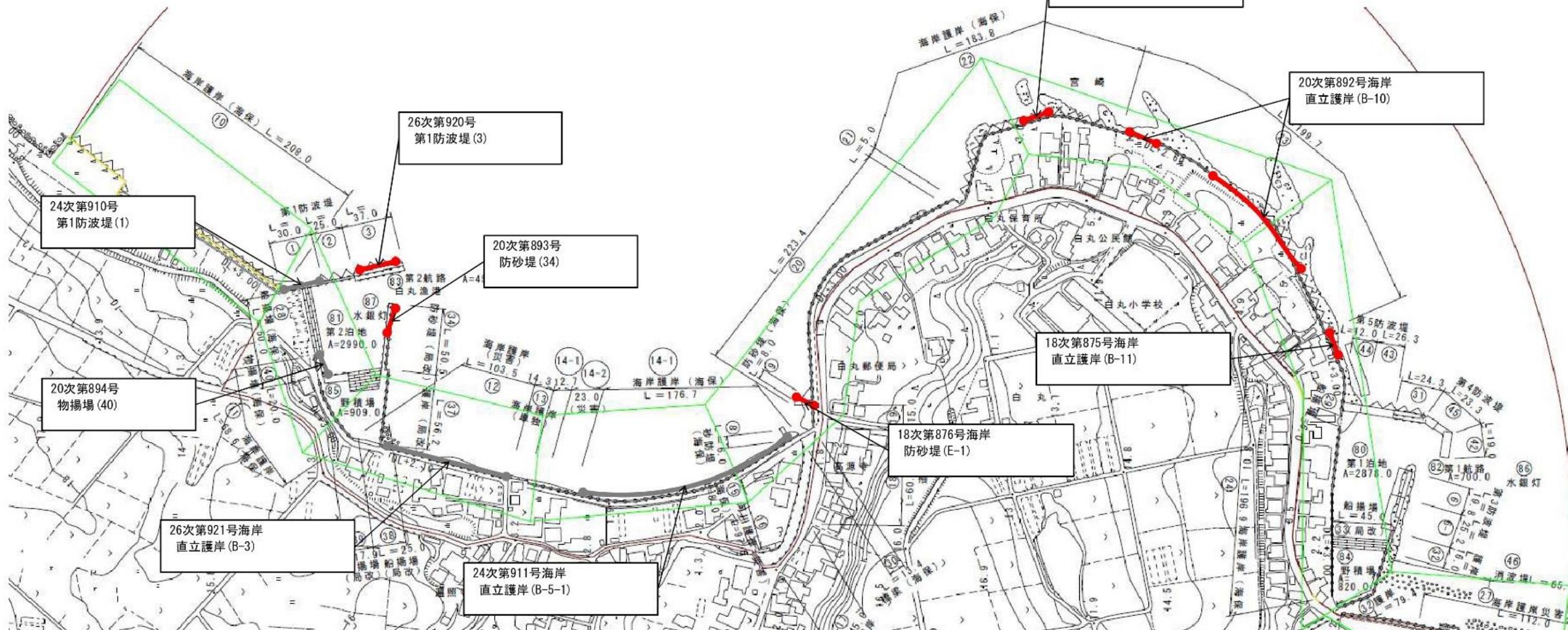
海上工事
陸上工事

測量・調査
地質調査
設計
工事

上段：予定
下段：実績
変更協議

白丸漁港 (しろまる)	漁港番号	種別	所管	管理者	施工場所
	2410290	第1種	本土	能登町	石川県鳳珠郡能登町字白丸

18次第874号海岸
直立護岸(B-9)



工事番号	施設	大規模 通常	R6年度				R7年度				R8年度				R9年度				復旧概要
			第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期													
910	第1防波堤(1)	大規模																	L=25.9m (上部工L=25.9m)
920	第1防波堤(3)	大規模																	L=37.6m (上部工L=37.6m、本体工L=6m、消波工N=65個)
893	防波堤(34)	大規模																	L=20.3m (本体工L=20.3m、上部工L=20.3m、撤去工L=20.3m)
894	物揚場(40)	大規模																	L=20.2m (CON斜路工A=42m ²)
876	防波堤(E-1)	大規模																	L=10.1m (基礎工L=10.1m、ブロック工L=10.1m)
921	直立護岸(B-3)	大規模																	L=103.2m (舗装工A=128m ² 、排水構造物工L=103.2m)
911	直立護岸(B-5)	大規模																	L=177.4m (本体工L=177.4m、舗装工A=355m ²)
874	直立護岸(B-9)	大規模																	L=6.5m (上部工L=6.5m)
892	直立護岸(B-10)	大規模																	L=108.3m (波返工L=108.3m、舗装工A=80m ² 、消波工N=39個)
875	直立護岸(B-11)	大規模																	L=12.5m (上部工L=12.5m)

海上工事
陸上工事

測量・調査	上段：予定
地質調査	下段：実績
設計	
工事	変更協議

被災施設・工事未着工
被災施設・工事施工中
被災施設・工事完成

03

教育施設の 復旧・復興見通しについて (教育委員会事務局長)

小学校施設の今後の見通し

施設名	R6 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度 以降
宇出津小学校	<div style="width: 100%; background-color: green;"></div>				復旧工事完了
鵜川小学校	<div style="width: 100%; background-color: green;"></div>				現在工事中、R7年度中 完成予定
小木小学校	<div style="width: 100%; background-color: green;"></div>				復旧工事完了（R7年10月）
柳田小学校	<div style="width: 100%; background-color: green;"></div>				入札不調が続き現在工事内容等を再検討し応札方法を調査中
松波小学校	<div style="width: 100%; background-color: green;"></div>			<div style="background-color: #0070C0; color: white; padding: 2px 5px;">仮設解体・グラウンド整備</div>	現在は仮設校舎、新築及び解体の実施設計中 仮設解体・グラウンド整備

中学校施設の今後の見通し

施設名	R6 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度 以降
能都中学校					
復旧工事完了					
小木中学校					
復旧工事完了					
柳田中学校					
校舎と体育館は工事中 → R7年中に完成予定 外構工事は発注準備中 → R7年度中に完成予定					
松波中学校					
復旧工事設計中 → R8年3月までに復旧工事完了予定					

公民館施設の今後の見通し

公民館名	R6 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度 以降
秋吉					
不動寺					
高倉・神野 鵜川・瑞穂 岩井戸					

【公民館全般】 全15公民館のほぼ全てにおいて、壁のクラックや駐車場の亀裂などの被害。公民館等社会教育施設は今年度から国の災害復旧事業を開始。国に事業申請し順次復旧工事を進める。また、今後旧耐震基準の公民館（築40年越えが6公民館）建替を計画的に行う予定。

04

児童施設の 復旧・復興見通しについて (健康福祉課長)

児童施設の今後の見通し

施設名	R6 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度 以降
柳田保育所	<div style="width: 100%; background-color: green;"></div>				
こどもみらい センター		<div style="width: 100%; background-color: green;"></div>			
まつなみキッ ズセンター		<div style="width: 100%; background-color: green;"></div>	<div style="width: 10%; background-color: blue; color: white; text-align: center;">解体工事予定</div>		

05

公共施設個別施設計画見直し について

(企画財政課長)

公共施設個別施設計画の検討概要

〈計画の概要〉

公共施設等総合管理計画：高度成長期以降に整備された公共施設の老朽化に対応し、人口減少・財政制約下でも持続可能なまちを実現するため、施設の統廃合・長寿命化方針を示す町全体の資産の戦略的管理計画（アセットマネジメント計画）。

公共施設個別施設計画：総合管理計画を受け、各施設の存廃・改修時期・ライフサイクルコストを具体化し、優先順位を付す実行プラン。

〈計画の位置づけ〉

本計画は、本町の上位計画である「能登町総合計画」、「能登町創生総合戦略」との整合性を図り、各政策分野の中で、公共施設等の取組みに対し、横断的な方針を示す計画です。

〈計画期間と検討経緯〉

現在、第1期計画を踏まえた第2期計画の策定に向けた検討作業を行っています。策定にあたっては主に令和6年能登半島地震及び奥能登豪雨による被害状況等も踏まえ、公共施設等の方針の見直しを行っています。

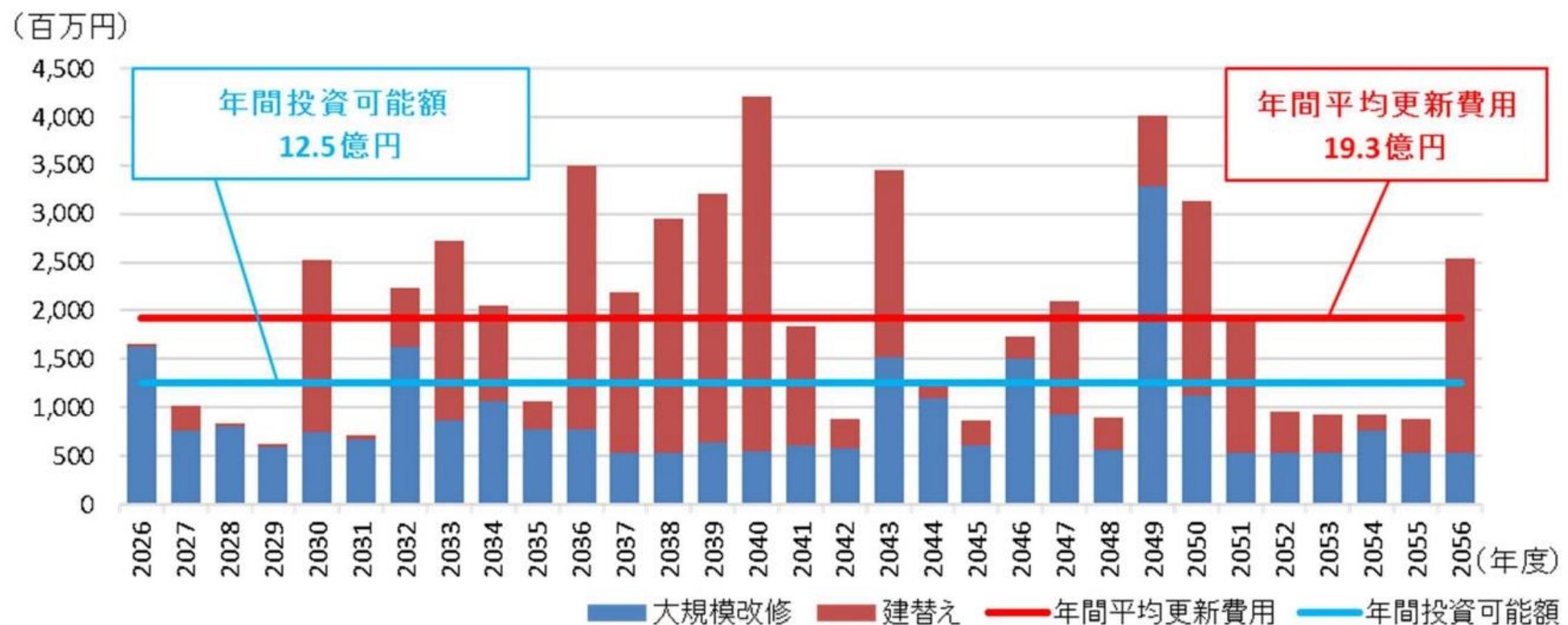
	計画	2021-2030	2031-2040	2041-2050
第1期	◎能登町公共施設等総合管理計画			
	●能登町公共施設個別施設計画		計画期間 2021～2040	
第2期	◎能登町公共施設等総合管理計画	見直し中	計画期間 2026～2045	
	●能登町公共施設個別施設計画			
第3期	◎能登町公共施設等総合管理計画			計画期間 2031～2050
	●能登町公共施設個別施設計画			

公共施設個別施設計画の検討概要

〈将来更新費用の試算結果〉

本町の保有する建築系公共施設全施設にかかる更新費用を試算し、今後の更新必要額として「年間平均で19.3億円」が必要という結果となりました。

町の年間投資可能額が12.5億円であるのに対し、更新必要額が19.3億円となり、約36%の財源が不足するという結果となりました。



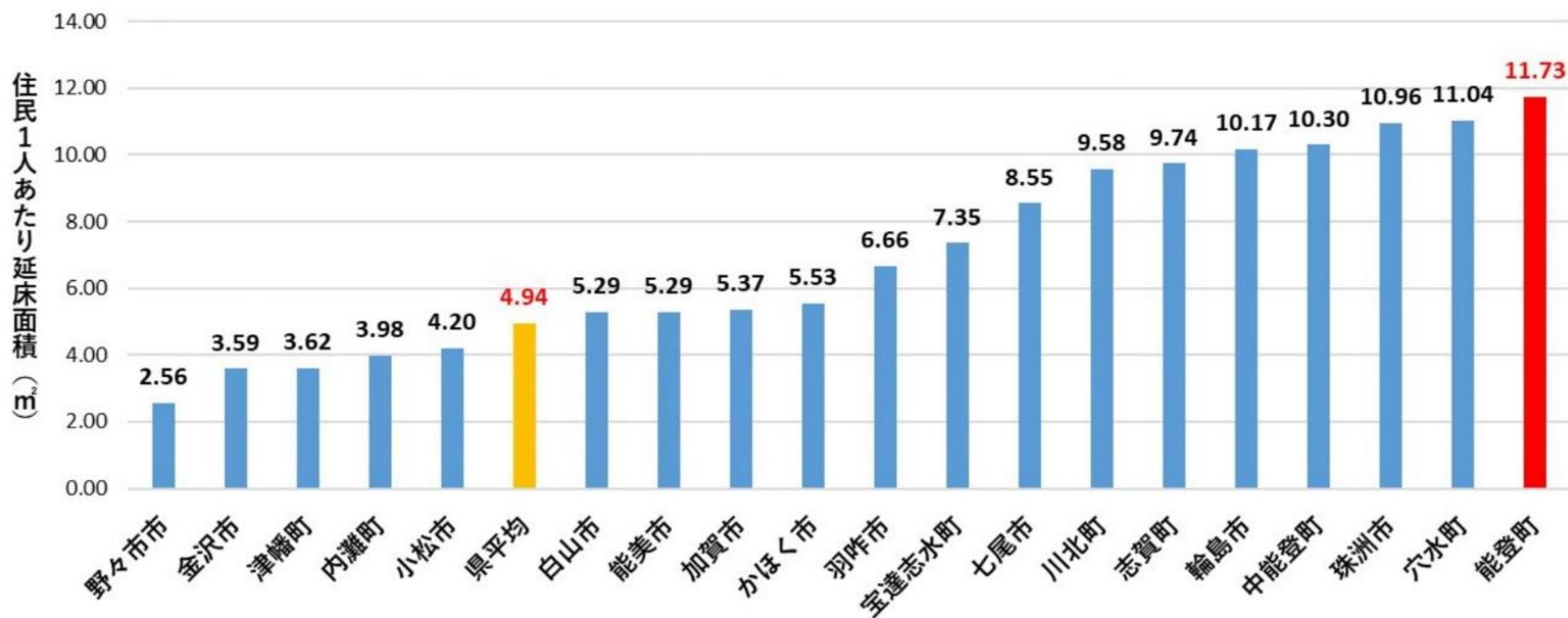
年間投資可能額：町の財源を勘案し、年間で公共施設の更新に充てることができる額

年間平均更新費用：公共施設を現状のまま保有した場合に必要となる年間の更新(大規模改修、建替え等)

公共施設個別施設計画の検討概要

〈県内市町の住民1人あたりの施設延床面積〉

公表されている直近の数値では、住民1人あたりの建築系公共施設及びその他建築系公共施設（医療施設を除く）の延床面積は11.73m²と県内で最も多く、県平均の2.4倍程度となっています。



出典)令和5年度公共施設状況調査
住民基本台帳(令和6年3月)

公共施設個別施設計画の検討概要

〈本計画における数値目標(削減目標面積)〉

上記の財源不足割合を勘案し、公共施設の延床面積を計画期間内に 36% 削減することを目標とします。
具体的な削減目標面積は以下の通りです。

対象延床面積	136,865 m ²
削減目標面積 ※上記面積の 36%	49,271 m²

体育施設の再編手法・方向性(案)

【所管:教育委員会事務局】

施設名	再編手法	再編手法までの施設のあり方	留意事項 将来の方向性
能都体育館 柳田体育館 内浦体育館	建物：除却 機能：集約化(新設)	既存の施設は除却する 新体育館建設までは、現状どおり一般開放している学校体育館での対応とする	能都(半壊)、柳田(一部損壊) 内浦(一部損壊、津波被害) 全て旧耐震施設 既存の3体育館は除却し、総合体育館を整備 総合体育館の整備場所は、柳田植物公園内で検討し、屋内プール・武道館と集約
能都野球場	建物：除却 機能：集約化(既設or新設)	能都と柳田は、震災前と同様の利用とする	当面は被災程度・利用状況等も踏まえ柳田野球場を維持し集約化
柳田野球場	建物：維持or除却 機能：集約化(既設or新設)	内浦野球場を含めた内浦総合運動公園は、当面の間復旧工事の資材置き場等として使用する	野球場の再整備方針は今後の利用状況等も踏まえ検討
内浦野球場	建物：除却 機能：集約化(既設or新設)		

福祉施設の再編手法・方向性(案)

【所管:健康福祉課】

施設名	再編手法	再編手法までの施設のあり方	留意事項 将来の方向性
能登七見健康 福祉の郷 「なごみ」	建物：除却 機能：複合化・集約化 (既設or新設)	既存の施設は除却し、跡地利用を促す 食堂、和室部分は施設利用の公募を行い、応札がなければ除却する	温泉とプール(大規模損壊) 食堂と和室など(一部損壊) 各小学校のプール機能を複合化し、総合体育館内に屋内プールを整備 温浴機能については民間による運営や他施設へ集約化 ※温泉とプール棟は除却 ※復興期において、民間の活用状況から和室と食堂部分などを残すことも検討
七見デイサー ビスセンター (なごみ併設施設)	建物： 維持(譲渡・貸付)or除却 機能：廃止	施設利用の公募を行い、応札がなければ除却する	被災程度が小さいため、譲渡、貸付を検討

観光施設の再編手法・方向性(案)

【所管:ふるさと振興課】

施設名	再編手法	再編手法までの施設のあり方	留意事項 将来の方向性
国民宿舎能登 うしつ荘	建物：民間譲渡or除却 機能： 集約化(やなぎだ荘)	震災前と同様に維持	民間参入を優先(宿泊機能がメイン) 宿泊施設に対する補助金制度の創設など、企業誘致に向けた取組を進める
国民宿舎能登 やなぎだ荘	建物： 【宿泊棟】更新or除却 【御前】除却 【温泉】複合化or除却 機能： 【宿泊棟】 集約化(うしつ荘) 【温泉】 複合化(笹ゆり荘)	宿泊棟は維持とするが、当面の間は復旧・復興事業者の宿泊を優先する 温泉部分は、震災前と同様に維持する	宿泊棟(一部損壊) 御前(全壊) 民間参入を優先(宿泊・温泉機能) 宿泊施設に対する補助金制度の創設など、企業誘致に向けた取組を進める 温泉施設として考えた場合、民間参入を優先 笹ゆり荘との複合化等検討

観光施設の再編手法・方向性(案)

【所管:ふるさと振興課】

施設名	再編手法	再編手法までの施設のあり方	留意事項 将来の方向性
ふれあいの里 施設 (レストラン花菖蒲、ふれあいハウス、合鹿庵、売店)	建物： 【合鹿庵・売店】維持 【花菖蒲】民間譲渡 【ふれあいハウス】転用 機能：維持・集約化・転用	震災前と同様に維持 ふれあいハウスは屋内遊具施設として改修	合鹿庵、売店は維持 レストラン花菖蒲は民間による利活用を検討 ふれあいハウスは屋内遊具施設へ転用

06

復興公営住宅の整備計画 について

(復興住宅課長)

復興公営住宅の基本的な整備の考え方（全体計画）

整備方針

『能登町復興計画』（令和7年2月策定）で定める「再生と創造に向けた5つの柱」の分野別取組「くらしと地域コミュニティの再建」に位置づける「復興（災害）公営住宅の整備」を達成するため、「石川県復興公営住宅整備指針」を基に、地域特性や新しいコミュニティ形成、高齢者・障がい者等に配慮しつつ、安全・安心な生活環境が持続する、良質な住まい（復興公営住宅）を供給するものです。

全体計画の 目 標

整備計画期間は能登町復興計画を基に、被災世帯の意向を確認した上で、ニーズに対し過不足のない復興公営住宅を整備します。

考 え 方

被災者ニーズとともに、能登町の都市構造や公的住宅ストックの状況および将来の住宅需要を見越して、地区別の供給戸数を計画します。

既存公的住宅 戸 数

215 戸（令和7年9月時点 用途廃止予定を除く）

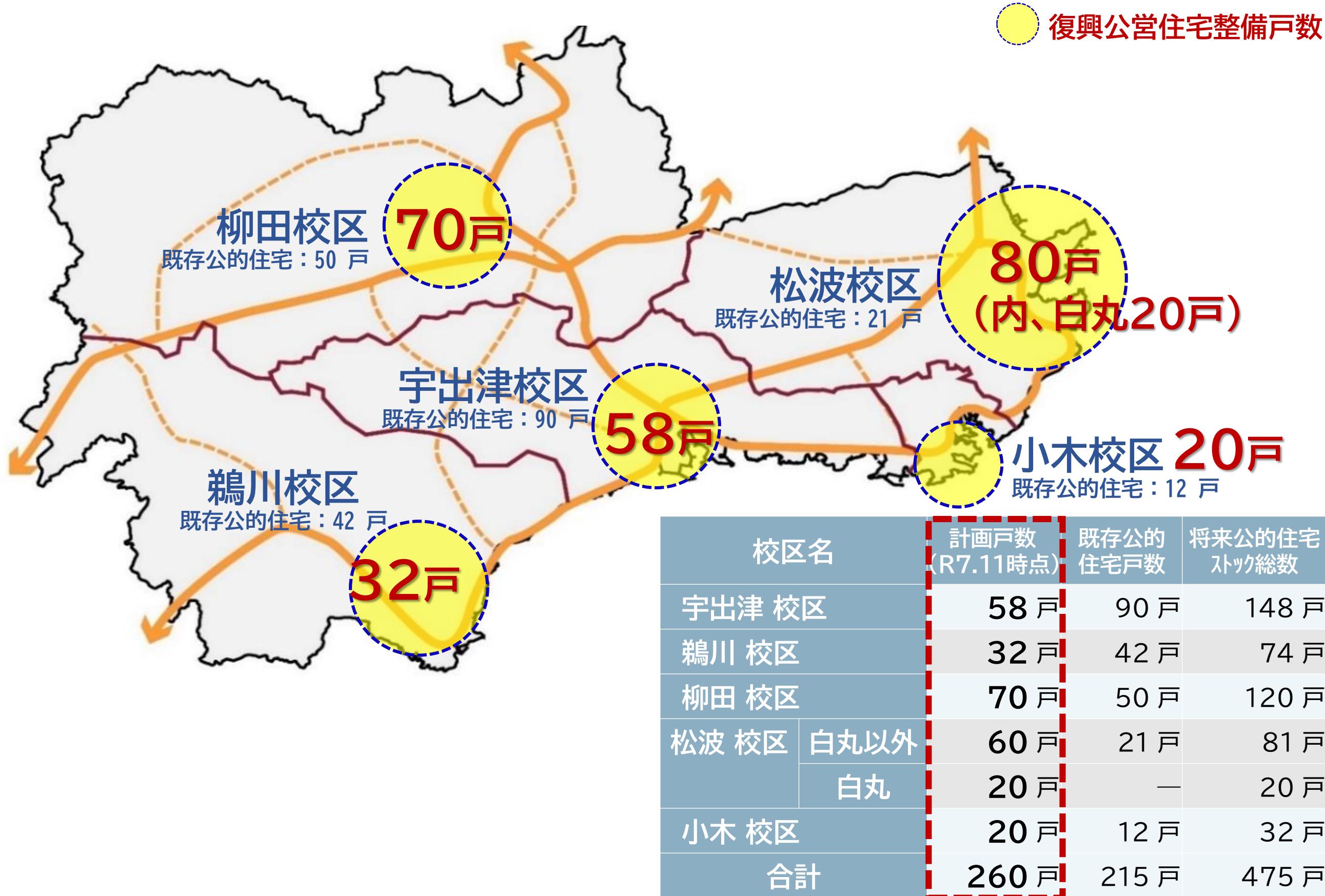
整備計画 戸 数

260 戸（令和7年度に実施した意向調査の結果より供給戸数を設定）

整備地区設定

整備地区設定や具体的な整備場所は、意向調査において被災世帯が希望された地域・地区を基に、生活の利便性や住環境を重視し選定します。

校区別戸数



意向調査結果による整備戸数の整理

入居希望あり 255 件 (A 票回答)	入居要件該当 206 件 (全体調査票で 1~6 を適切に回答)
入居要件不明 38 件	
入居要件非該当 11 件	
入居希望なし 656 件 (A 票に回答があるが、B 票で明確な再建意向があるもの(5件)、入居希望人数「0」(1件)は入居希望なしと判断)	
未回答 570 件	

配布総数 1,481 票

調査結果戸数
244 件

○入居要件該当及び不明で入居希望あり(244 件(206+38))

送付先	送付数(A)	回答数(B) 回収率(B/A)	入居希望数(C) 入居希望率(C/B)
建設仮設	532	419 (78.8%)	208 (49.6%)
みなし仮設	134	91 (67.9%)	16 (17.6%)
県内外の公営住宅・長期避難世帯・自主避難者	28	13 (46.4%)	2 (15.4%)
半壊以上世帯(上記除く)	787	376 (47.8%)	18 (4.8%)
送付先不明※	-	12 (-)	-
合計	1481	911 (61.5%)	244 (26.8%)

○校区・公民館別の計画戸数(案)

2025.11.25 時点

校区別	調査結果戸数	計画戸数	地区別	詳細計画戸数	住戸形式	入居時期(予定)	整備状況
宇出津	57	58	宇出津第1団地 (旧しらさぎ保育所)	30	中層共同	R9年4月	設計中
			宇出津第2団地 (漆原町)	8	低層長屋	R9年度	用地交渉中
			宇出津第3団地 (濱町)	16	中層共同	R10年度~	護岸・道路工事完了後
			宇出津第4団地 (大竹町)	4(1)	低層長屋	R10年度~	護岸・道路工事完了後
鵜川	32	32	鵜川団地 (鵜川支所裏)	24	低層長屋	R10年度~	用地検討中
			瑞穂団地 (旧瑞穂小中学校跡地)	8	低層長屋	R9年度	発注方式検討中
柳田	55	70	柳田第1団地 (天坂及び五郎左工門分)	52(15)	低層長屋	R10年4月	公募準備中
			柳田第2団地 (建設仮設やなぎだ第1団地)	18	低層長屋	R11年度	他団地完成後
松波	80	80	松波第1団地 (旧サロニカ駐車場跡地)	27	中層共同	R9年4月	設計中
			松波第2団地 (旧シメノドラッグ跡地)	24	低層長屋	R9年度	用地交渉中
			松波第3団地 (建設仮設まつなみ第2団地)	9	低層平屋	R11年度	他団地完成後
			白丸	20	低層長屋	R9年度	基盤設計中
小木	20	20	小木	20	低層長屋	R10年度~	用地検討中
合計	244	260					

凡例: ()内は調整戸数を示す(内数)。

○意向調査結果(校区・公民館別の詳細状況(244 件))

校区別	公民館名	第一希望	第二希望以降	高台希望	払下げ希望
宇出津	宇出津	52	14	1	1
	高倉	1			
	神野	3			2
	三波	1	4		
鵜川	鵜川	24	7	4	1
	瑞穂	8	5		
柳田	柳田	25	21		2
	上町	25	15		1
	小間生	3	5		
	岩井戸	2	3		
松波	松波	57	8	1	7
	秋吉	2	2		
	不動寺	1	2		1
	白丸	20	2		
小木	小木	20	7	1	2
合計		244		6	17

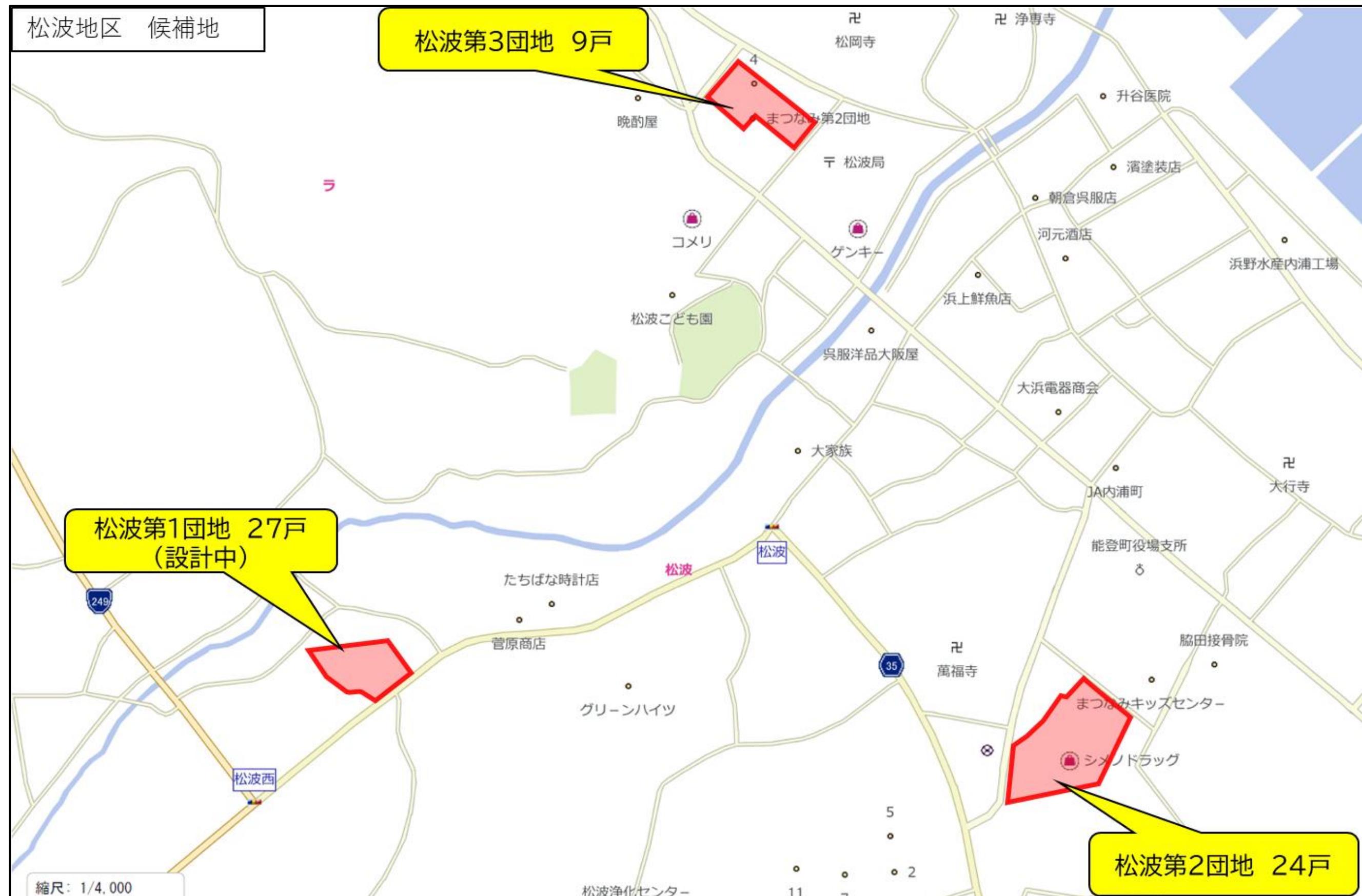
校区・公民館別の計画団地一覧

2025.11.25時点

校区別	計画戸数	地区別	詳細計画戸数	住戸形式	入居時期(予定)	整備状況	
宇出津	58	宇出津第1団地 (旧しらさぎ保育所)	30	中層共同	R9年4月	設計中	
		宇出津第2団地 (漆原町)	8	低層長屋	R9年度	用地交渉中	
		宇出津第3団地 (濱町)	16	中層共同	R10年度~	護岸・道路工事完了後	
		宇出津第4団地 (大竹町)	4(1)	低層長屋	R10年度~	護岸・道路工事完了後	
鵜川	32	鵜川団地 (鵜川支所裏)	24	低層長屋	R10年度~	用地検討中	
		瑞穂団地 (旧瑞穂小中学校跡地)	8	低層長屋	R9年度	発注方式検討中	
柳田	70	柳田第1団地 (天坂及び五郎左工門分)	52(15)	低層長屋	R10年4月	公募準備中	
		柳田第2団地 (建設仮設やなぎだ第1団地)	18	低層長屋	R11年度	他団地完成後	
松波	80	松波第1団地 (旧サロニカ駐車場跡地)	27	中層共同	R9年4月	設計中	
		松波第2団地 (旧シメノドラッグ跡地)	24	低層長屋	R9年度	用地交渉中	
		松波第3団地 (建設仮設まつなみ第2団地)	9	低層平屋	R11年度	他団地完成後	
		白丸	20	低層長屋	R9年度	基盤設計中	
小木	20	小木	20	低層長屋	R10年度~	用地検討中	
合計	260	13団地	※()内、調整戸数を示す(内数)				

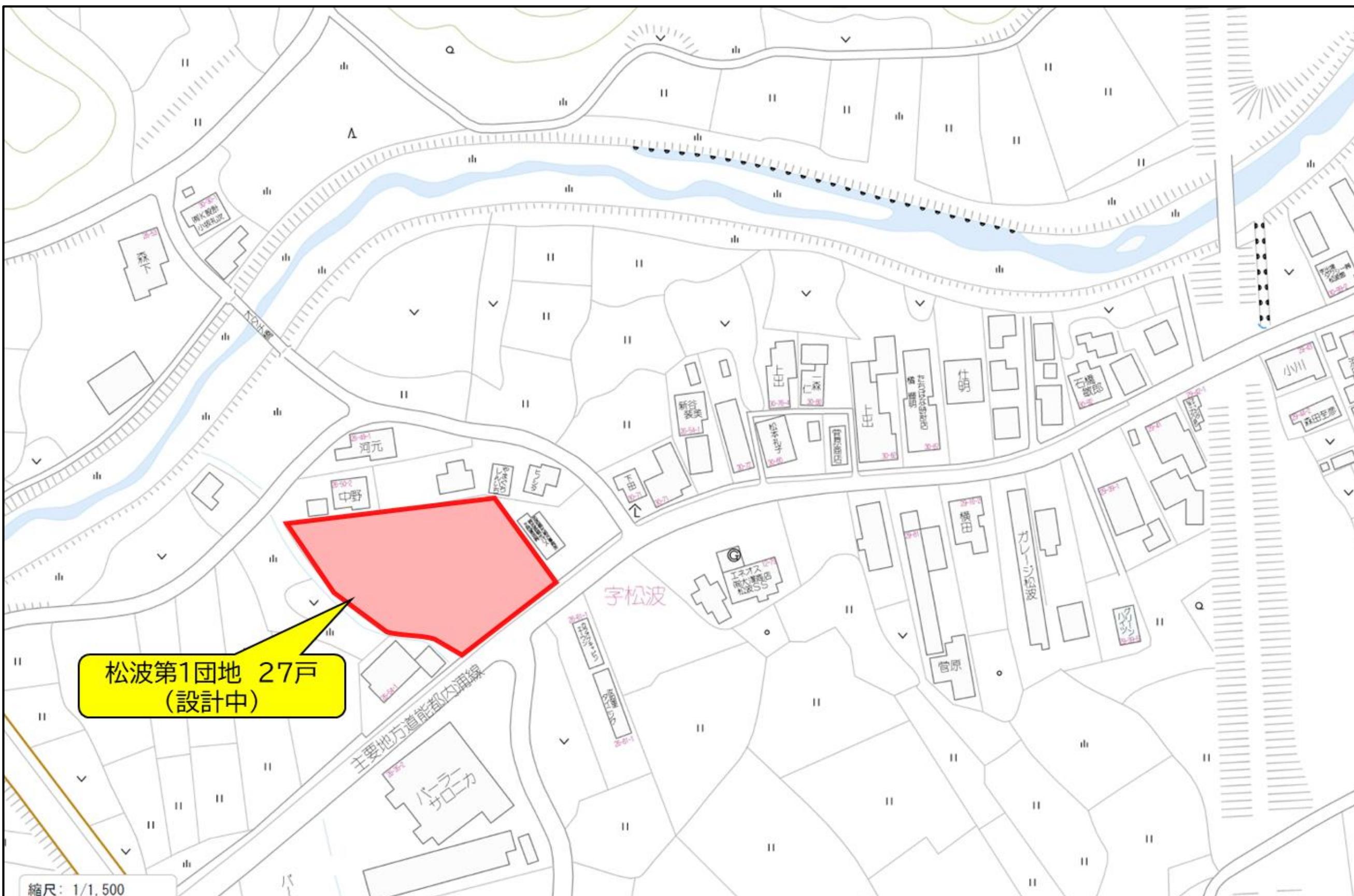
松波校区 | 团地全域

2025.11.25時点

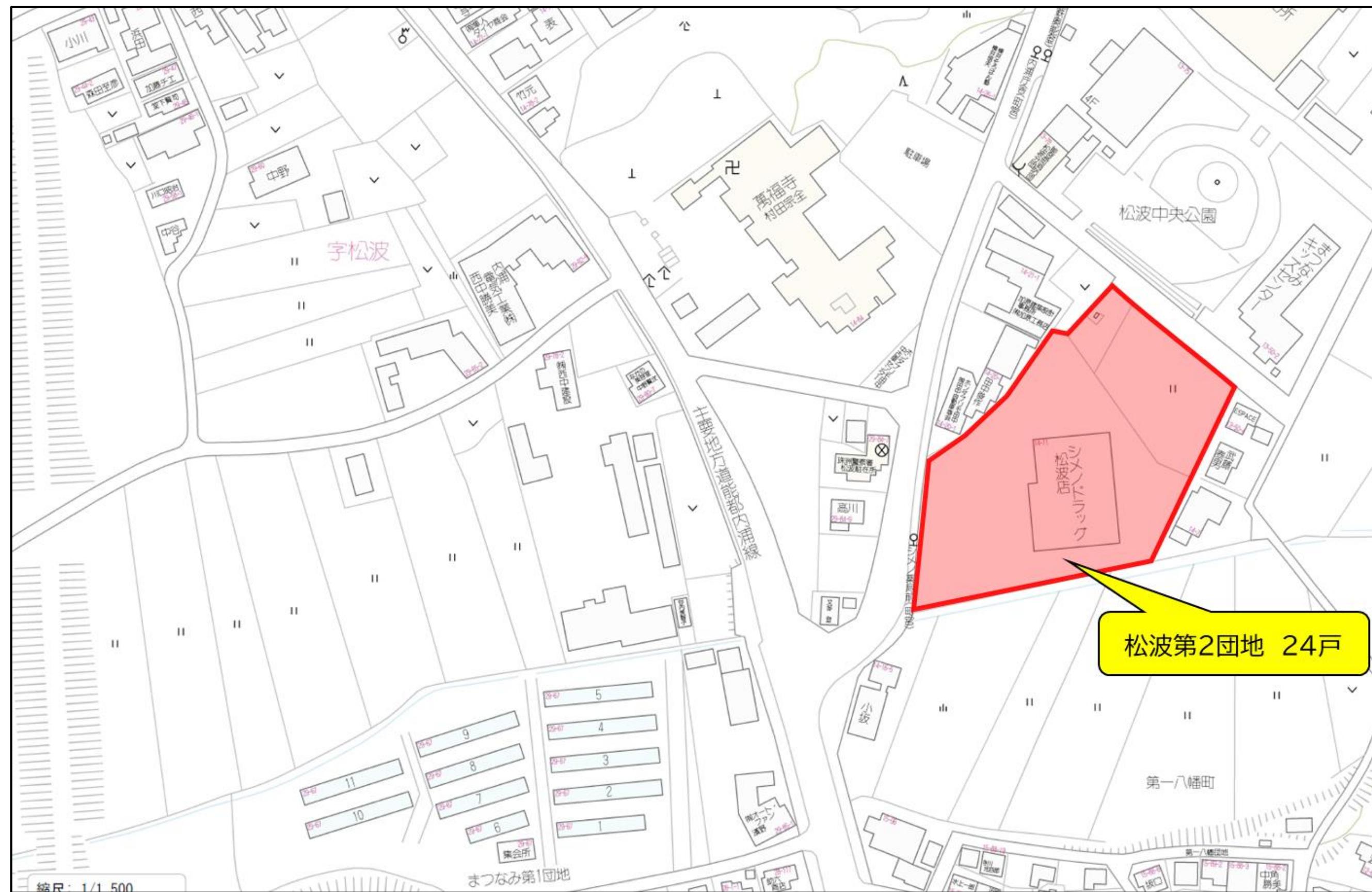


松波第1団地（旧サロニカ駐車場跡地）

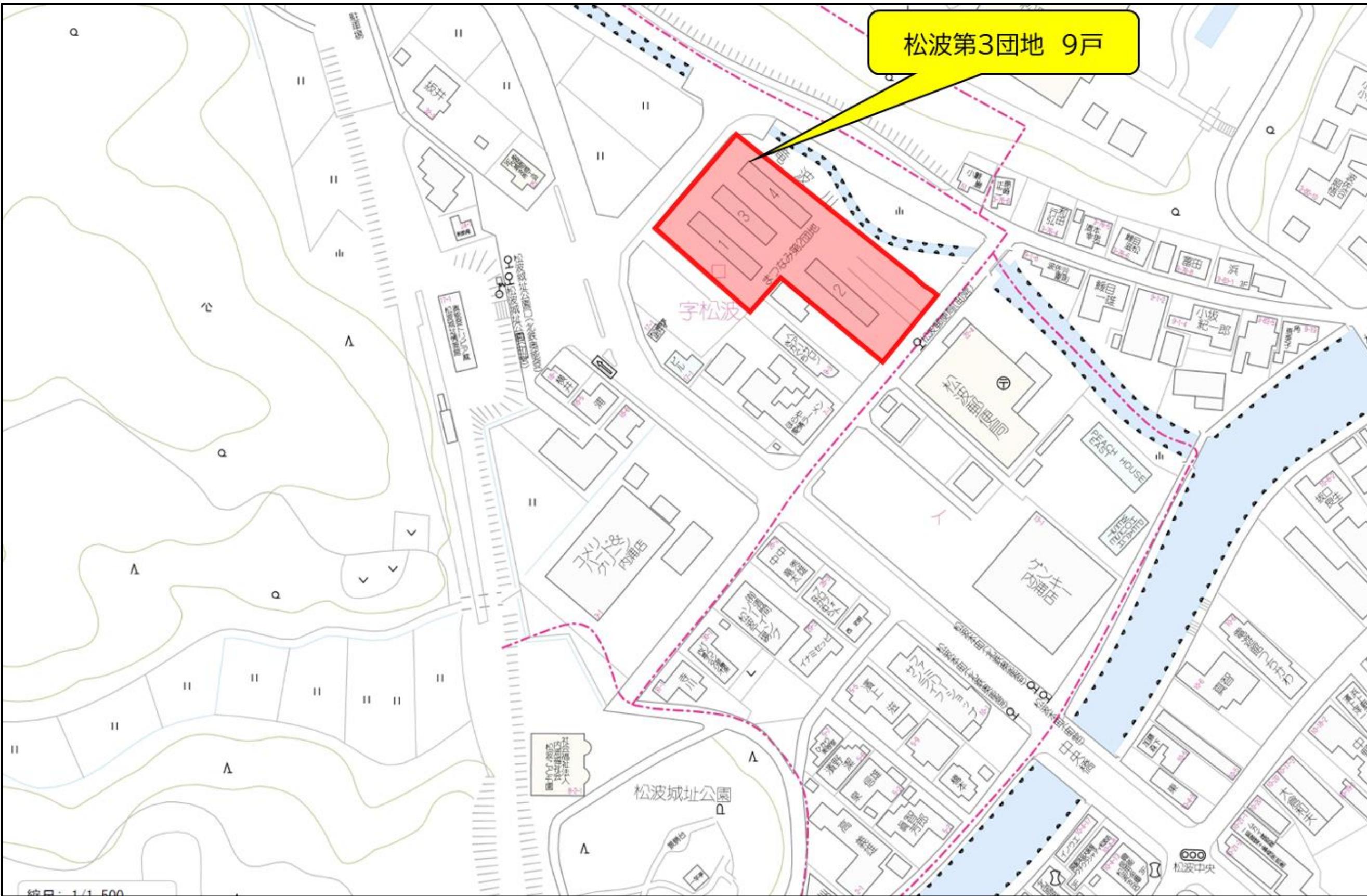
2025.11.25時点



松波第2団地（旧シメノドラッグ跡地）

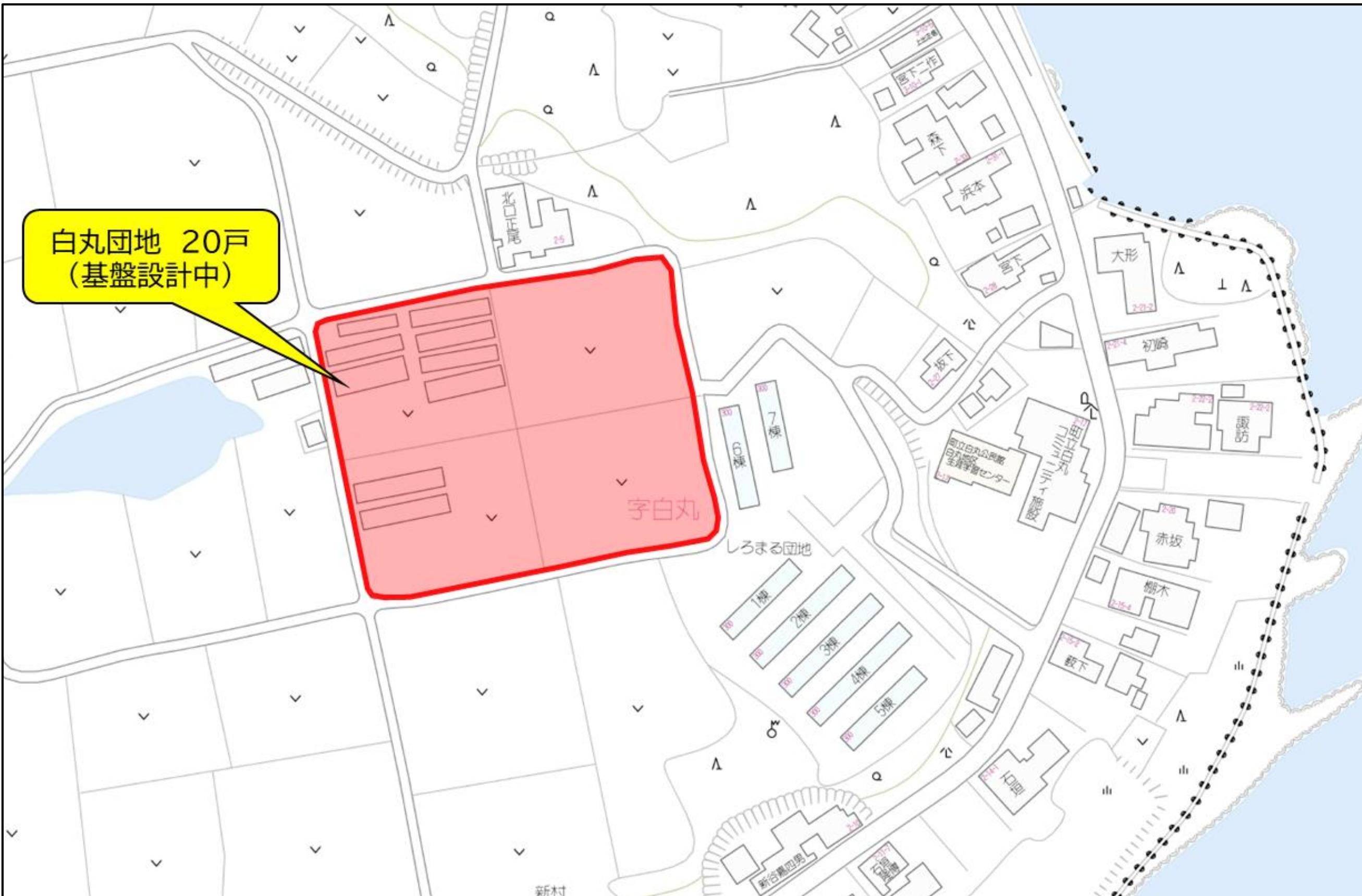


松波第3団地（建設仮設まつなみ第2団地跡地）



松波校区 | 白丸団地 (建設仮設しろまる団地周辺)

2025.11.25時点



07

地区別復興 まちづくり計画について (復興推進課長)



松波地区

松波・秋吉・不動寺・白丸公民館区

復興まちづくり計画案(概要)

策定目的

5小学校区を計画対象としています。
令和7年度から令和14年度までの8年間を計画期間とします。

能登町復興計画

再生と創造に向けた5つの柱

令和7年2月策定

インフラの早期再生
と強靭化

くらしと地域コミュニティの再建

生業(なりわい)の
再建安心してくらし続ける
まちづくり復興プロジェクトの
創出

地区別復興まちづくり計画

各地区的個性や特徴を生かしたまちづくりの実現

宇出津地区

柳田地区

松波地区

小木地区

鶴川地区

策定までの経緯

- 14名の委員が参加する「松波地区復興まちづくり協議会」で議論を行いながら、計画策定を進めました。委員は、町会区長会連合会代表、小学校PTA関係者、公民館関係者、町復興推進委員、一般公募等より選定しました。
- 復興ディレクターとして久野先生に参画・支援いただきながら計画策定を進めています。
- 策定経過はニュースレターで町民の皆様に周知しながら進めてきました。

復興ディレクター（学識者）紹介

茨城大学
工学部 都市システム工学科 准教授

くの やすひろ
久野 靖広

【松波地区との関わり】
松波小学校の新築設計

6月

第1回松波地区まちづくり協議会 6月9日

計画の概要・検討スケジュール等を共有した上で、松波地区の特徴や今後の松波地区のまちづくりに求めることを意見交換しました。

7月

松波地区住民ワークショップ 7月28日

町民の中から参加者を募集（30名参加）し、2つのテーマ（災害に強いまちづくり、楽しく住み続けられるまちづくり等）で意見交換しました。

10月

第2回松波地区まちづくり協議会 10月3日

第1回協議会やワークショップでの意見を踏まえ事務局が作成した計画骨子を基に、目指すべき将来像や復興まちづくりの施策を意見交換しました。

11月

第3回松波地区まちづくり協議会 11月13日

事務局が作成した計画案を基に、重点事業のうち、地域で次年度から着手を目指す取組の具体化に向けて意見交換しました。

12月

計画完成予定

目指すべき将来像

内浦の豊かな自然と祭りの心が、世代を超えて“わくわく”を生み出す 松波

内浦の里山里海の自然の豊かさや、歴史とともに受け継がれた集落ごとの祭礼文化など、それぞれの地域が持つ個性を活かし、暮らしが楽しみながら住み続けられる地域づくりを進めます。海辺の風景が美しいスポットや恋路海岸・五色ヶ浜など海に親しむ地域資源が豊富であることを活かして、来訪者やさらには移住者も温かく迎え入れる地域づくりの実現を目指します。また、松波小学校の再建を復興の起点として、こども達を育むとともに、多様な世代が交流し支え合い、未来につながる“わくわく”する地域づくりを目指します。

基本目標

- 1) 地域の個性を活かし支え合うコミュニティづくり
- 2) 多様な世代が楽しみ挑戦できる暮らしづくり
- 3) 内浦の豊かな自然環境や歴史文化を活かした賑わいづくり

復興まちづくりの施策

- 復興まちづくり協議会や住民ワークショップでの地域からの意見と復興計画を踏まえて、特に重点的・先導的に取り組むべき事業を「重点事業」として設定しました。

重点事業1

松波小学校・まつなみキッズセンター
再建による子育てに重点を置いた環境整備



松波小学校

重点事業2

公民館の建替えや運用変更による
多世代の交流の場づくり



秋吉公民館

重点事業3

海辺の資源を活かした
レクリエーション環境整備

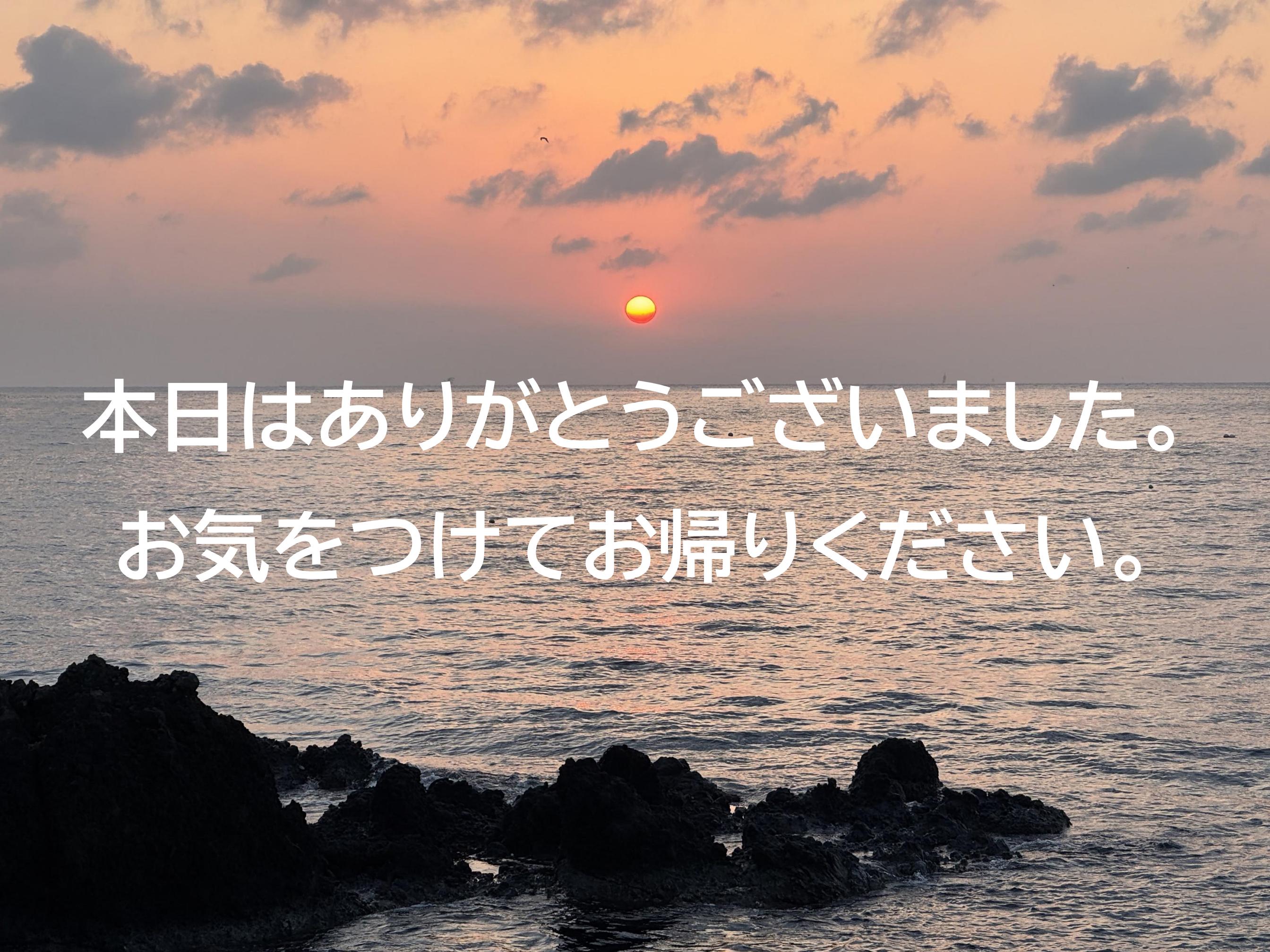
恋路海岸や五色ヶ浜の海水浴場や良好な景観を有する海辺の観光資源を活かして、さらに多様なアクティビティを提供できる環境の整備、海辺の地域における民間事業者等によるサービスの提供などによって、交流・関係人口の獲得を目指します。



恋路海岸

意見交換

- 01 インフラの復旧・復興の見通し**
- 02 公共施設個別計画の見直し案**
- 03 復興公営住宅の整備計画案**
- 04 地区別復興まちづくり計画案**

A photograph of a sunset over the ocean. The sky is filled with orange and yellow clouds, and the sun is a small red dot near the horizon. In the foreground, dark silhouettes of rocks are visible against the bright water.

本日はありがとうございました。
お気をつけてお帰りください。